

平成22年度 アサガオ被害調査 結果報告

埼玉県環境科学国際センター
自然環境担当

アサガオ被害調査－平成22年度結果－

1) 163の有効調査地点のうち、153地点で、アサガオの葉に可視障害が発現した。

2) 被害葉率(被害葉の数÷現存葉の数×100)
の有効調査地点平均値: 46.4%

→ 埼玉県は光化学スモッグによるアサガオの被害が発生しやすく、各調査地点では、平均して出現した葉の5割弱に被害が発現したことを示している。

アサガオ被害調査－平成22年度結果－

3) 被害面積率(累積葉被害面積率^(注1)÷現存葉数)の有効調査地点平均値: 22.9%

→ 各調査地点では、出現した葉1枚あたりにおしなべて換算すると、葉の面積の2割強に被害が発現したことを示している。

4) 平均被害面積率(累積葉被害面積率÷被害葉数)の有効調査地点平均値: 45.3%

→ 各調査地点で被害が発現した葉では、平均して葉の面積の5割弱にまで達する被害が発現したことを示している。

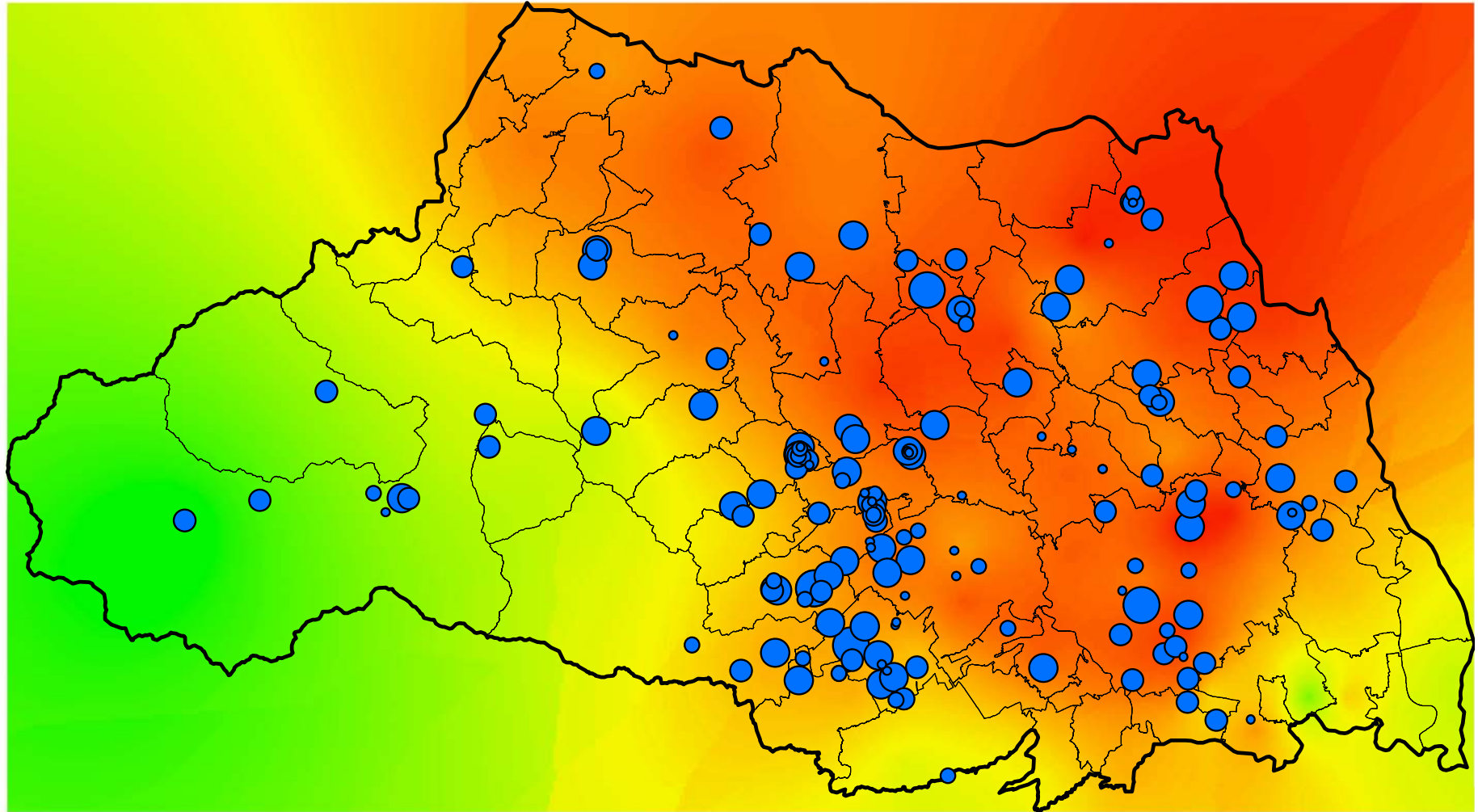
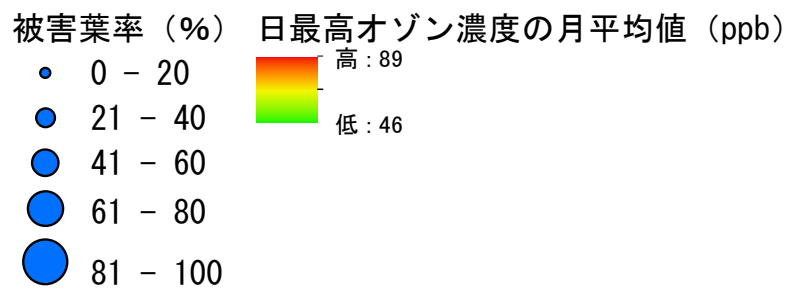
アサガオ被害調査－平成22年度結果－

5) 埼玉県におけるオゾン濃度常時監視測定点 (59地点)の7月の全地点月平均値

* 日平均オゾン濃度の全地点月平均値
: 32.7 ppb

* 日最高オゾン濃度の全地点月平均値
: 76.6 ppb

(注1) 累積葉被害面積率: 各葉位で目視により測定された
葉被害面積率を全て積算した値。

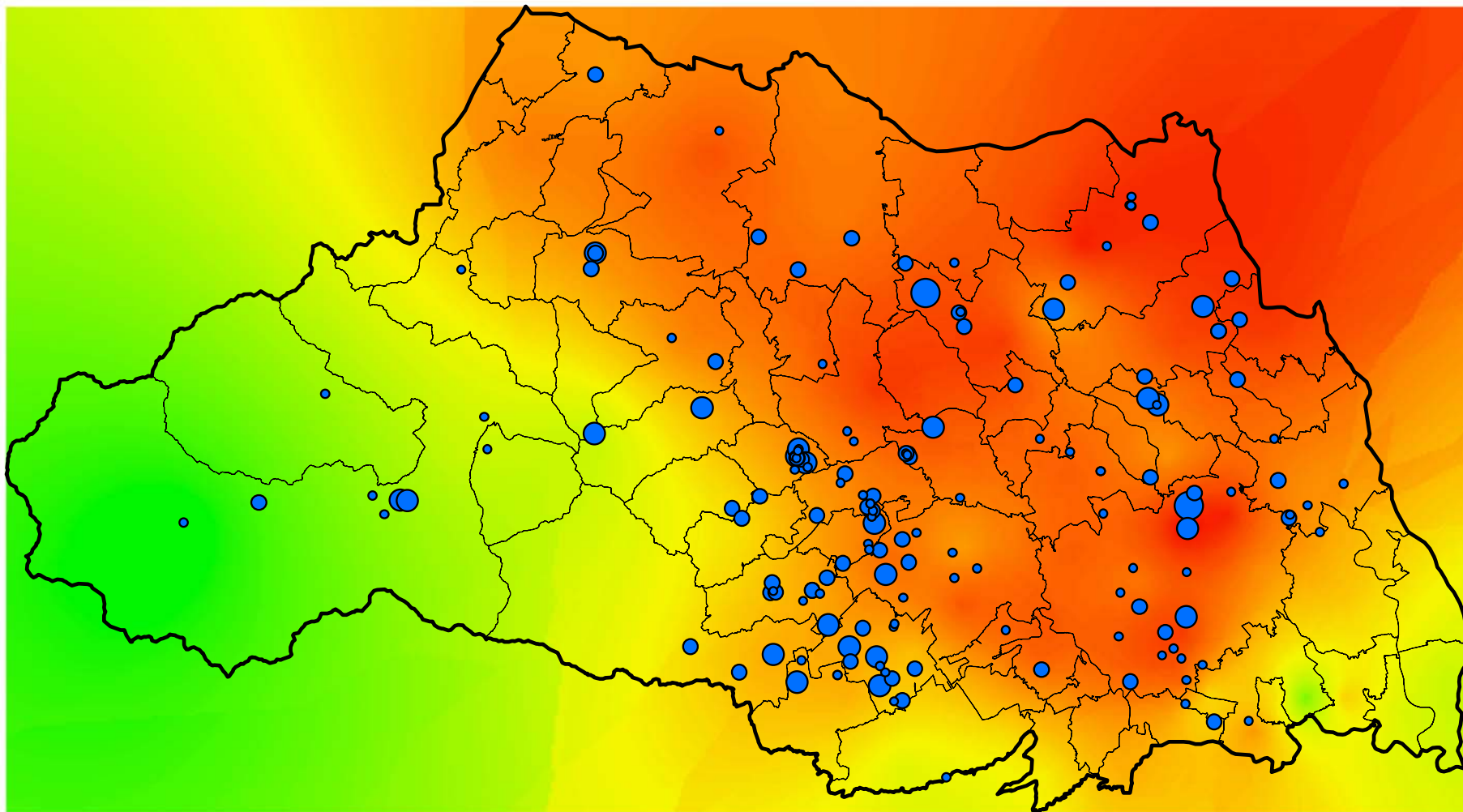


アサガオの被害葉率と日最高オゾン濃度の月平均値(平成22年7月)の県内分布

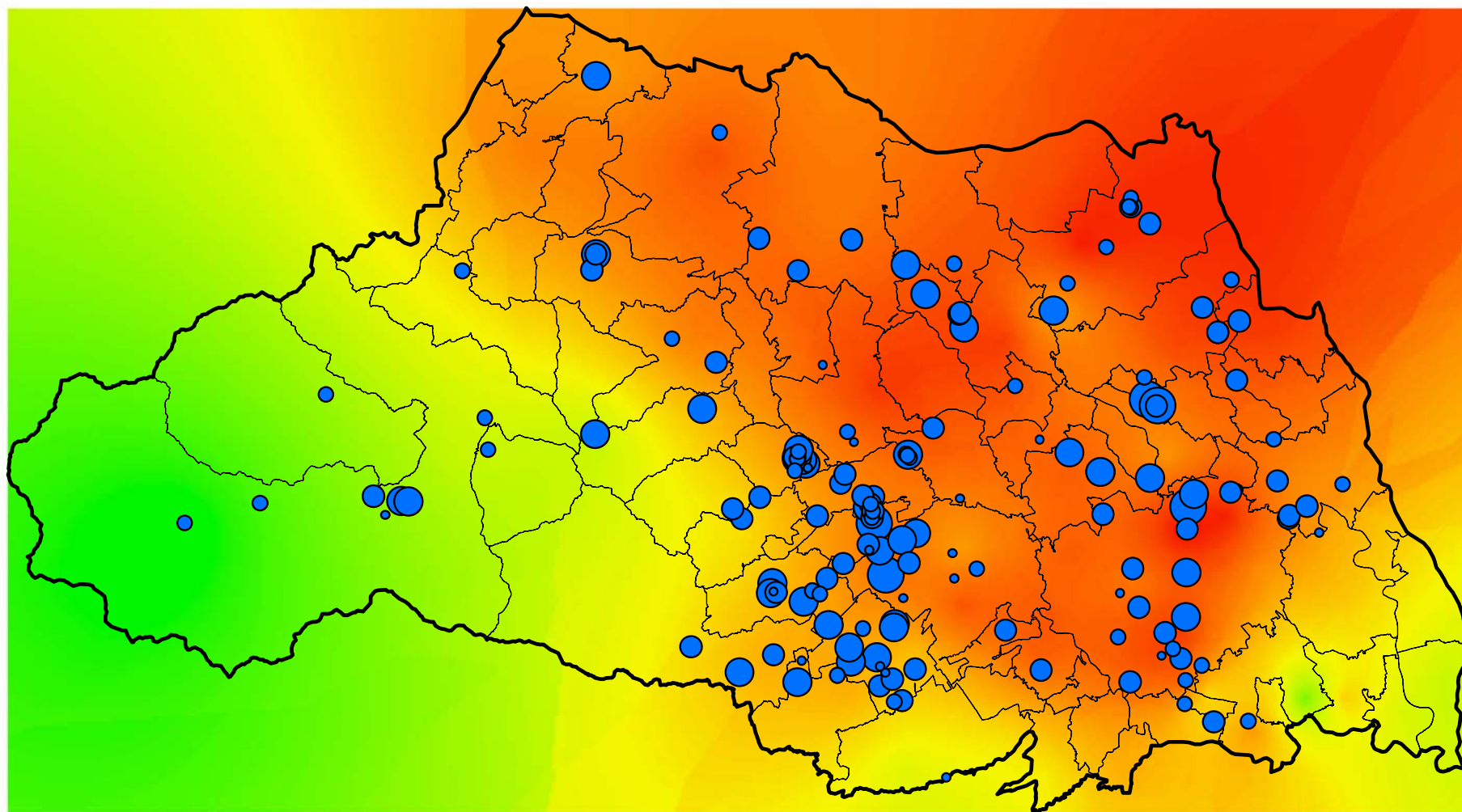
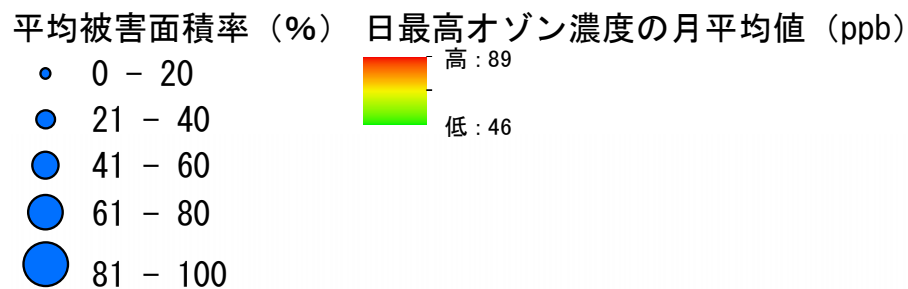
被害面積率 (%) 日最高オゾン濃度の月平均値 (ppb)

- 0 - 20
- 21 - 40
- 41 - 60
- 61 - 80
- 81 - 100

高: 89
低: 46



アサガオの被害面積率と日最高オゾン濃度の月平均値(平成22年7月)の県内分布



アサガオの平均被害面積率と日最高オゾン濃度の月平均値(平成22年7月)の県内分布

平成17年から6か年実施された アサガオ被害調査の結果

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
有効調査地点数	45地点	102地点	214地点	144地点	210地点	163地点
被害が発現した地点数	45地点	102地点	213地点	142地点	205地点	153地点
被害葉率の 有効調査地点平均値	54.1%	53.0%	45.2%	44.3%	41.0%	46.4%
被害面積率の 有効調査地点平均値	39.1%	33.1%	22.2%	24.4%	17.2%	22.9%
平均被害面積率の 有効調査地点平均値	71.0%	59.5%	45.7%	53.7%	40.8%	45.3%
日平均オゾン濃度の 月平均値(7月)	27.6 ppb	27.4 ppb	26.3 ppb	33.3 ppb	24.8 ppb	32.7 ppb
日最高オゾン濃度の 月平均値(7月)	69.3 ppb	62.7 ppb	56.9 ppb	79.7 ppb	52.5 ppb	76.6 ppb